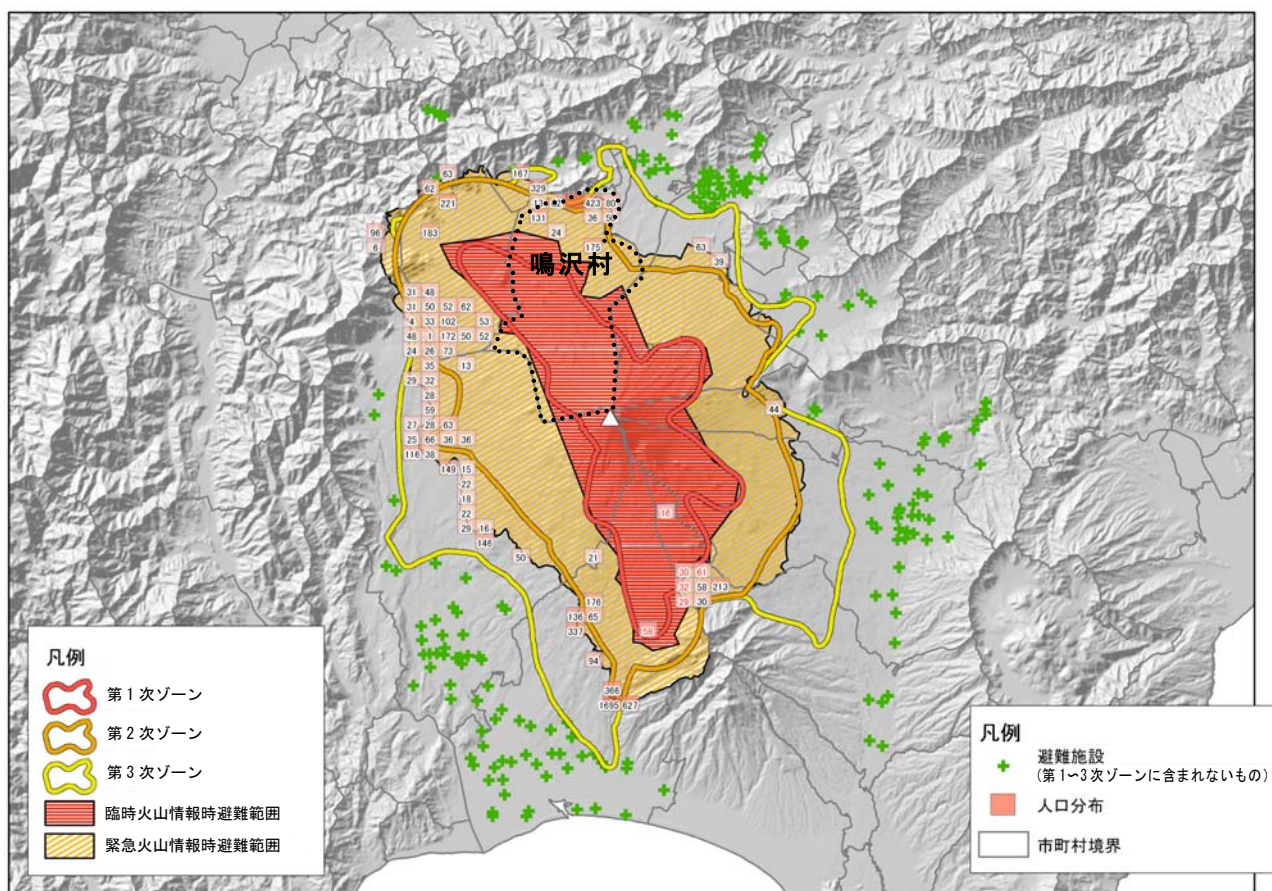


1. 避難対策

1-4 一般住民の噴火前避難

一般住民噴火前避難者数と収容施設について

《一般住民噴火前避難者数と避難所収容能力》



※避難施設は各市町村の「地域防災計画書」から抽出（平成10年度、内閣府調べ）。

※図に示す「臨時火山情報時避難範囲」および「緊急火山情報時避難範囲」は、道路、河川等の地形地物の線を用いて作成（仮定）したものであり、今後、地域の実態に応じた市町村の検討が必要。

◇‘平成12年国勢調査地域メッシュ統計’を用いて試算した「噴火前避難対象となる一般住民の人口」は、以下のとおり。

【試算】

臨時火山情報時避難範囲	約 230 人
緊急火山情報時避難範囲	約 9,690 人

◇一方、一般住民の避難先となる第1～3次ゾーンに含まれない避難所の収容力の合計は約15万人であり、全体としては十分な余裕有り。

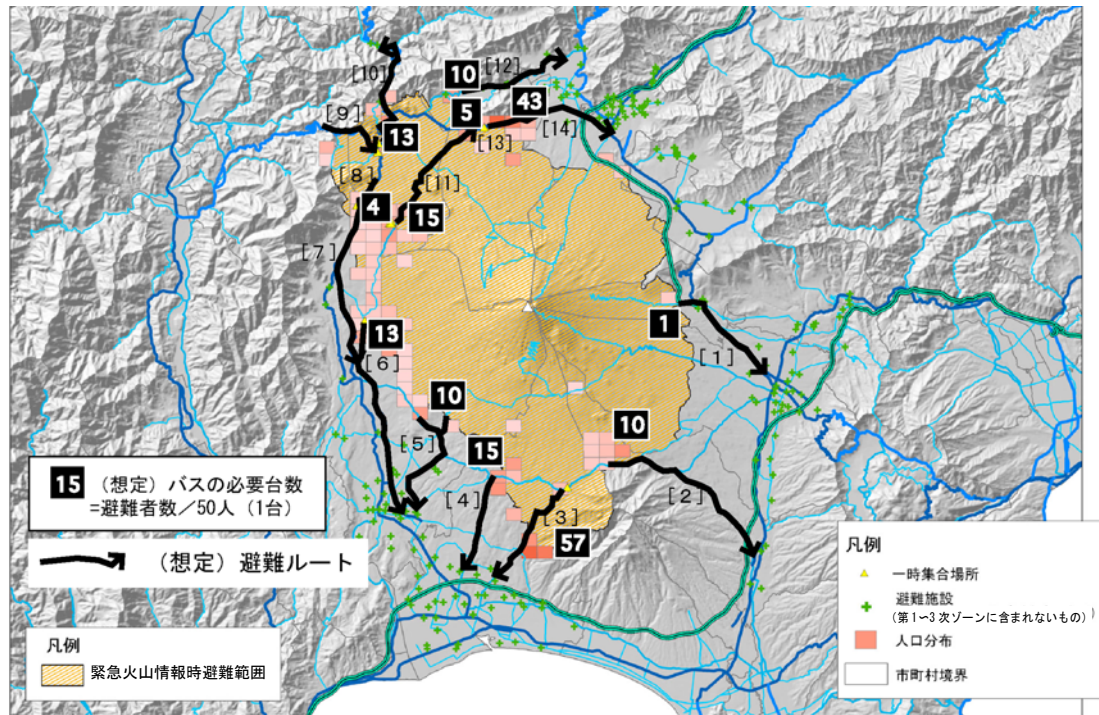
（避難所の収容力は各市町村の地域防災計画から算出）

◇鳴沢村は、村内ほとんどの場所が第1～3次ゾーンに含まれている。また避難所も第1～3次ゾーンに含まれているため、他市町村の避難所への避難が必要。

1. 避難対策

1-4 一般住民の噴火前避難

一般住民の噴火前避難に要するバスの台数について



※図に示す「緊急火山情報時避難範囲」は、道路、河川等の地形地物の線を用いて作成（仮定）したものであり、今後、地域の実態に応じた市町村の検討が必要。

No.	想定避難ルート	(所在・区間等)	想定避難者数	バスの必要台数
[1]	一般国道138号	(小山町・御殿場市：須走→)	44	1
[2]	富士裾野線	(裾野市：須山→)	469	10
[3]	富士御殿場線→富士裾野線	(富士市：勢子辻→)	2,840	57
[4]	富士白糸滝公園線	(富士市：大淵→)	714	15
[5]	富士宮富士公園線	(富士宮市)	488	10
[6]	清水富士宮線	(富士宮市：人穴→)	631	13
[7]	一般国道139号	(富士宮市：朝霧高原→上井出→)	165	4
[8]	一般国道139号	(富士宮市：根原→)		
静岡県側計			5,351	110
[9]	一般国道300号	(下部町：本栖みち)	631	13
[10]	一般国道358号	(上九一色村：精進ブルーライン→)		
[11]	富士宮鳴沢線	(上九一色村：富士豊茂→)	747	15
[12]	河口湖上九一色線	(河口湖町：湖北ビューライン)	496	10
[13]	一般国道139号	(鳴沢村)	250	5
[14]	一般国道139号	(鳴沢村、河口湖町、富士吉田市：富士パノラマライン)	2,108	43
山梨県側計			4,232	86
合計			9,583	196

- ・ 想定避難者数は、「平成12年国勢調査地域メッシュ統計」を用いて試算。
- ・ バスの必要台数は、1台あたり50人乗車可能と設定して試算。

富士山周辺地域におけるバスの保有状況（主要バス事業者）

営業所所在	乗合タイプ	貸切タイプ
富士吉田市	35	10
富士河口湖町		34
三島市（2社分）	69	37
御殿場市	30	9
富士宮市（2社分）	34	14
富士市	65	27
沼津市	94	29
計	327	160

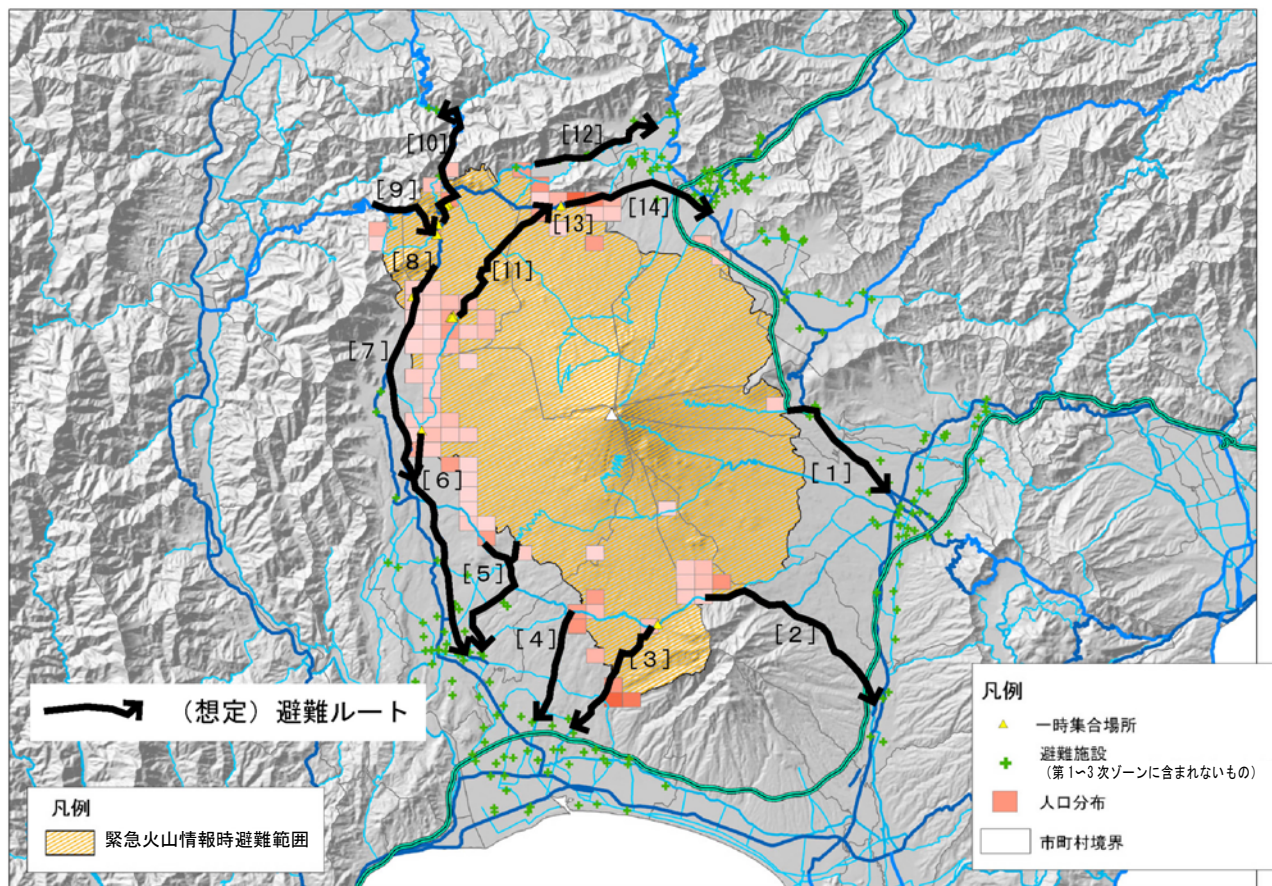
※富士山周辺市町村に営業所を置く主要バス事業者のバス保有台数で、いずれも大型車を対象に集計したもの

（山梨県、静岡県調べ）

1. 避難対策 1-4 一般住民の噴火前避難

5. 各種応急・復旧活動 5-1 交通規制

一時集合→避難ルート→避難所（想定）



※図に示す「緊急火山情報時避難範囲」は、道路、河川等の地形地物の線を用いて作成（仮定）したものであり、今後、地域の実態に応じた市町村の検討が必要。

【試算】

N o.	想定避難ルート	(所在・区間等)	その区間を通過する避難者数 (想定) *1
[1]	一般国道138号	(小山町・御殿場市：須走→)	44
[2]	富士裾野線	(裾野市：須山→)	469
[3]	富士御殿場線→富士裾野線	(富士市：勢子辻→)	2,840
[4]	富士白糸滝公園線	(富士市：大淵→)	714
[5]	富士宮富士公園線	(富士宮市)	488
[6]	清水富士宮線	(富士宮市：人穴→)	796
[7]	一般国道139号	(富士宮市：朝霧高原→上井出→)	165
[8]	一般国道139号	(富士宮市：根原→)	
[9]	一般国道300号	(下部町：本栖みち)	102
[10]	一般国道358号	(上九一色村：精進ブルーライン→)	631
[11]	富士宮鳴沢線	(上九一色村：富士豊茂→)	747
[12]	河口湖上九一色線	(河口湖町：湖北ビューライン)	496
[13]	一般国道139号	(鳴沢村)	997
[14]	一般国道139号	(鳴沢村、河口湖町、富士吉田市：富士パノラマライン)	3,601

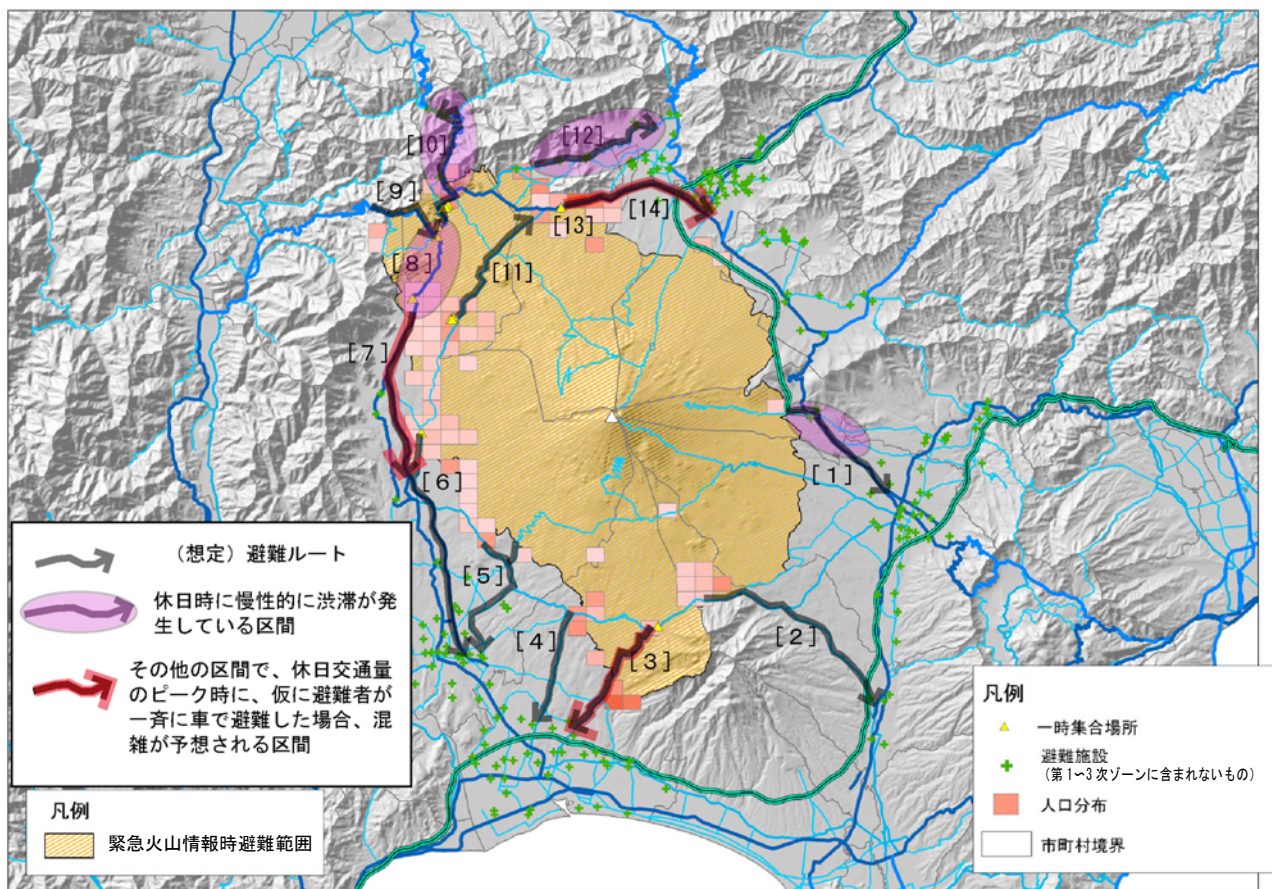
*1：避難ルートが合流する場合、合流後の区間を通過する避難者数は、各ルートからの避難者数の合計で示している。

・想定避難者数は、‘平成12年国勢調査地域メッシュ統計’を用いて試算。

1. 避難対策 1-4 一般住民の噴火前避難

5. 各種応急・復旧活動 5-1 交通規制

避難に伴う混雑が予想される区間



※図に示す「緊急火山情報時避難範囲」は、道路、河川等の地形地物の線を用いて作成（仮定）したものであり、今後、地域の実態に応じた市町村の検討が必要。

◇ ‘道路交通センサス’ および ‘平成 12 年国勢調査地域メッシュ統計’ を用いて試算した「避難車両で混雑が予想される区間」は以下のとおり。

【試算】

No.	想定避難ルート	(所在・区間等)	休日混雑度 ^{*1}	その他避難車両で混雑が予想される区間 ^{*2}
[1]	一般国道 138 号	(小山市・御殿場市：須走→)	○	
[2]	富士裾野線	(裾野市：須山→)		
[3]	富士御殿場線→富士裾野線	(富士市：勢子辻→)		○
[4]	富士白糸滝公園線	(富士市：大淵→)		
[5]	富士宮富士公園線	(富士宮市)		
[6]	清水富士宮線	(富士宮市：人穴→)		
[7]	一般国道 139 号	(富士宮市：朝霧高原→上井出→)		○
[8]	一般国道 139 号	(富士宮市：根原→)	○	
[9]	一般国道 300 号	(下部町：本栖みち)		
[10]	一般国道 358 号	(上九一色村：精進ブルーライン→)	○	
[11]	富士宮鳴沢線	(上九一色村：富士豊茂→)		
[12]	河口湖上九一色線	(河口湖町：湖北ビューライン)	○	
[13]	一般国道 139 号	(鳴沢村)		○
[14]	一般国道 139 号	(鳴沢村、河口湖町、富士吉田市：富士パノラマライン)		○

^{*1}休日混雑度「○」：道路交通センサスにおける休日混雑度により、休日時慢性的な渋滞が発生している区間

^{*2}その他避難車両で混雑が予想される区間「○」：その他の区間で休日交通量のピーク時に、仮に避難者が一斉に車で避難した場合、混雑が予想される区間

■道路渋滞の様子 （撮影 2005. 05. 03）

湖北ビューライン（河口湖の北側）



国道 139 号（鳴沢村焼間付近）



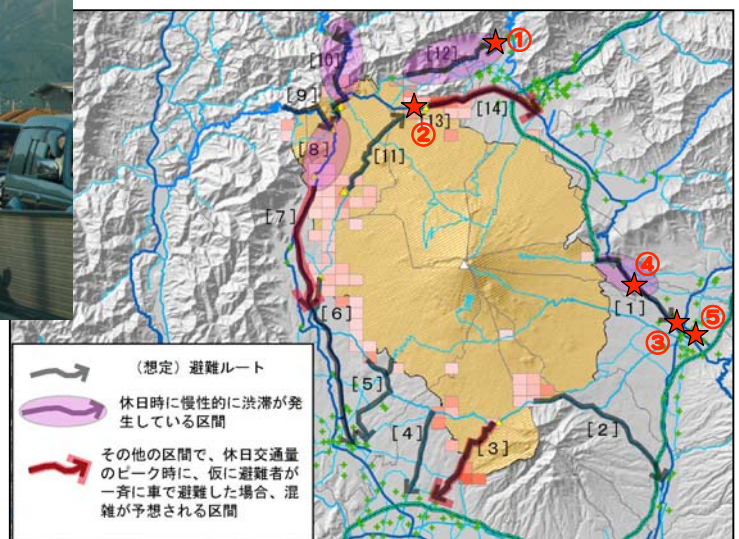
国道 138 号（御殿場市萩原北交差点付近）



国道 138 号（御殿場市柴怒田付近）



国道 138 号（御殿場市街地）



富士山周辺における宿泊施設の現状

○富士山周辺市町村における宿泊施設の現況は、下表のとおり。

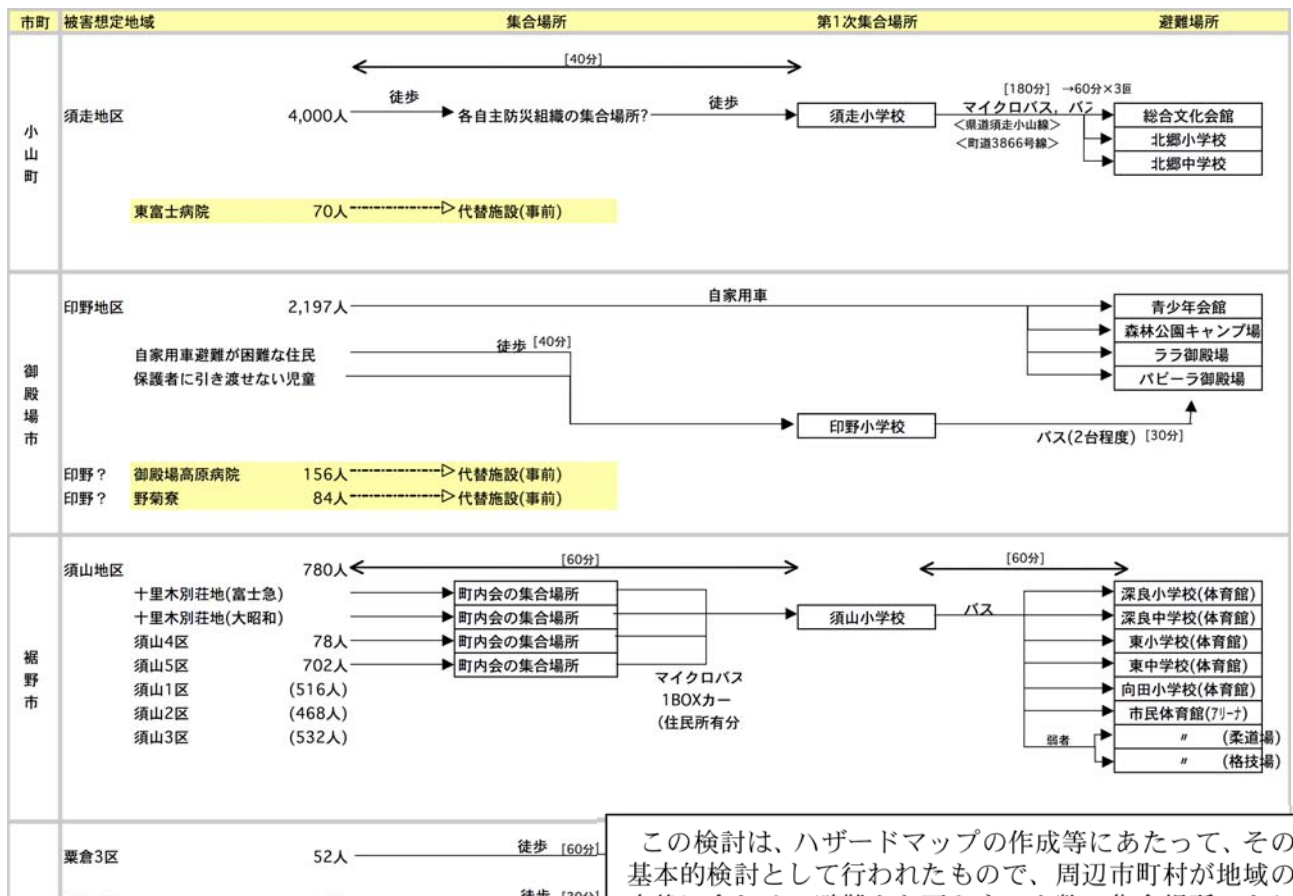
	施設数			客室数			定員数				利用可能 定員数 (想定)*1	備 考
	ホテル	旅館	簡易 宿所	ホテル	旅館	簡易 宿所	ホテル	旅館	簡易 宿所	計		
山梨県	30	679	774	1,998	8,862	6,280	6,945	36,606	39,640	83,191	66,551	※山梨県資料による
富士吉田市	4	5	77	349	801	527	778	2,481	5,191	8,450	6,760	
上九一色村	2	20	37	94	40	420	297	1,579	2,490	4,366	3,492	
道志村	0	14	83	0	127	486	0	553	3,220	3,773	3,018	
西桂町	0	2	3	0	11	27	0	28	212	240	192	
忍野村	1	37	53	22	390	329	80	1,485	2,185	3,750	3,000	
山中湖村	10	349	168	785	3,809	1,702	3,475	15,436	9,903	28,814	23,051	
富士河口湖町	12	230	332	714	3,338	2,661	2,161	13,542	15,621	31,324	25,059	
鳴沢村	1	22	21	34	346	128	154	1,502	818	2,474	1,979	
静岡県	60	324	70	2,823	2,795	762	9,813	11,545	4,810	26,168	20,931	※静岡県資料による ※定員数については、 データがないため、 施設形態別に山梨県の 1室当たり平均定員 をもとに算出
裾野市	6	32	4	291	260	10	1,012	1,074	63	2,149	1,718	
御殿場市	22	72	14	1,002	901	179	3,483	3,722	1,130	8,335	6,667	
小山町	5	32	15	267	538	31	928	2,222	196	3,346	2,676	
富士市	20	92	8	951	96	59	3,306	397	372	4,075	3,259	
富士宮市	7	96	29	312	1,000	483	1,085	4,131	3,049	8,264	6,611	
合計	90	1,003	844	4,821	11,657	7,042	16,758	48,151	44,450	109,359	87,482	

利用可能定員数：中山間地の観光施設稼働状況アンケート調査（平成 6 年 12 月、農林水産省農業研究センター実施）に基づく年間稼働率の全施設平均が 19.3%であることから、宿泊施設の定員数計に 0.8 を乗じた人数（端数切り捨て）とした。

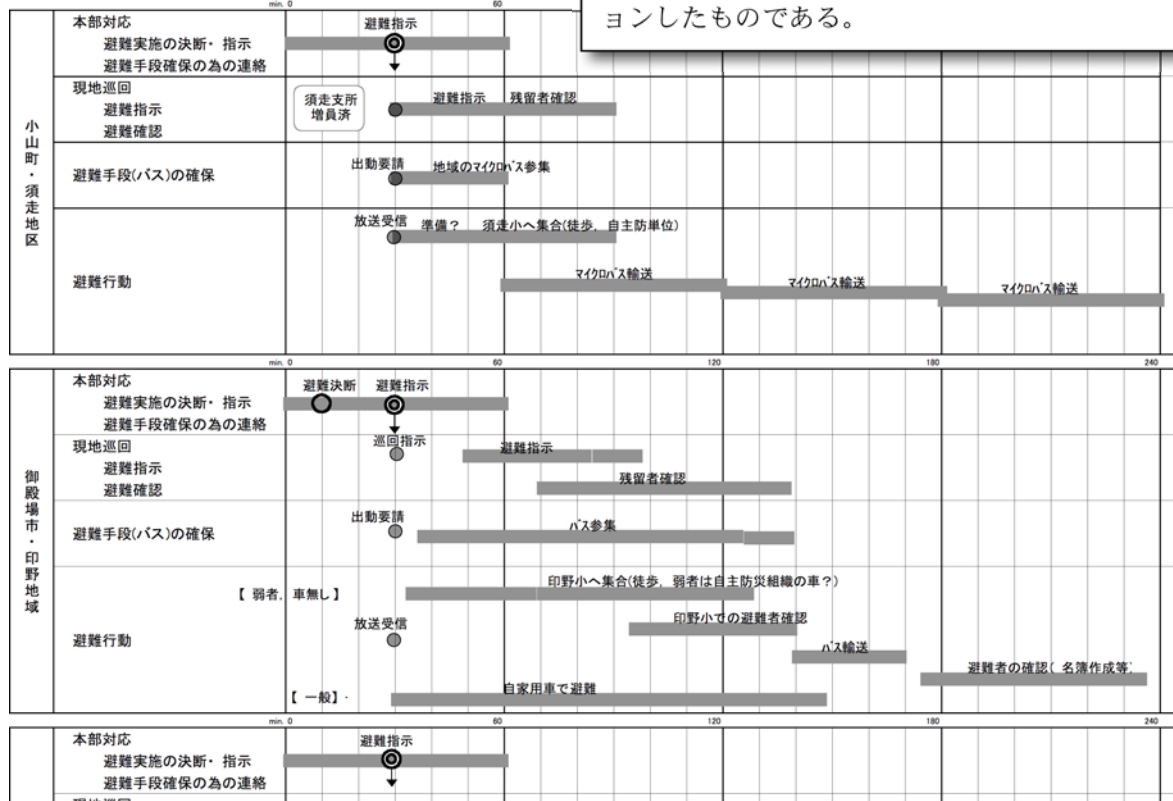
上記の宿泊施設の中には、溶岩流の到達など富士山噴火の影響を受け避難勧告・指示の対象となる地域の施設も含まれる。しかし、利用可能定員数の最も多い富士河口湖町の宿泊施設がすべて利用できない場合でも、利用可能定員数の合計は約 6 万 2 千人となる。富士山噴火の影響（特に溶岩流の到達）が全方位にわたる可能性は極めて少ないことを勘案すると、宿泊施設への避難者収容は十分に可能であると考えられる。

1. 避難対策 1-4 一般住民の噴火前避難 一般住民の噴火前避難のケーススタディについて

■静岡県富士山火山防災計画検討部会での検討例

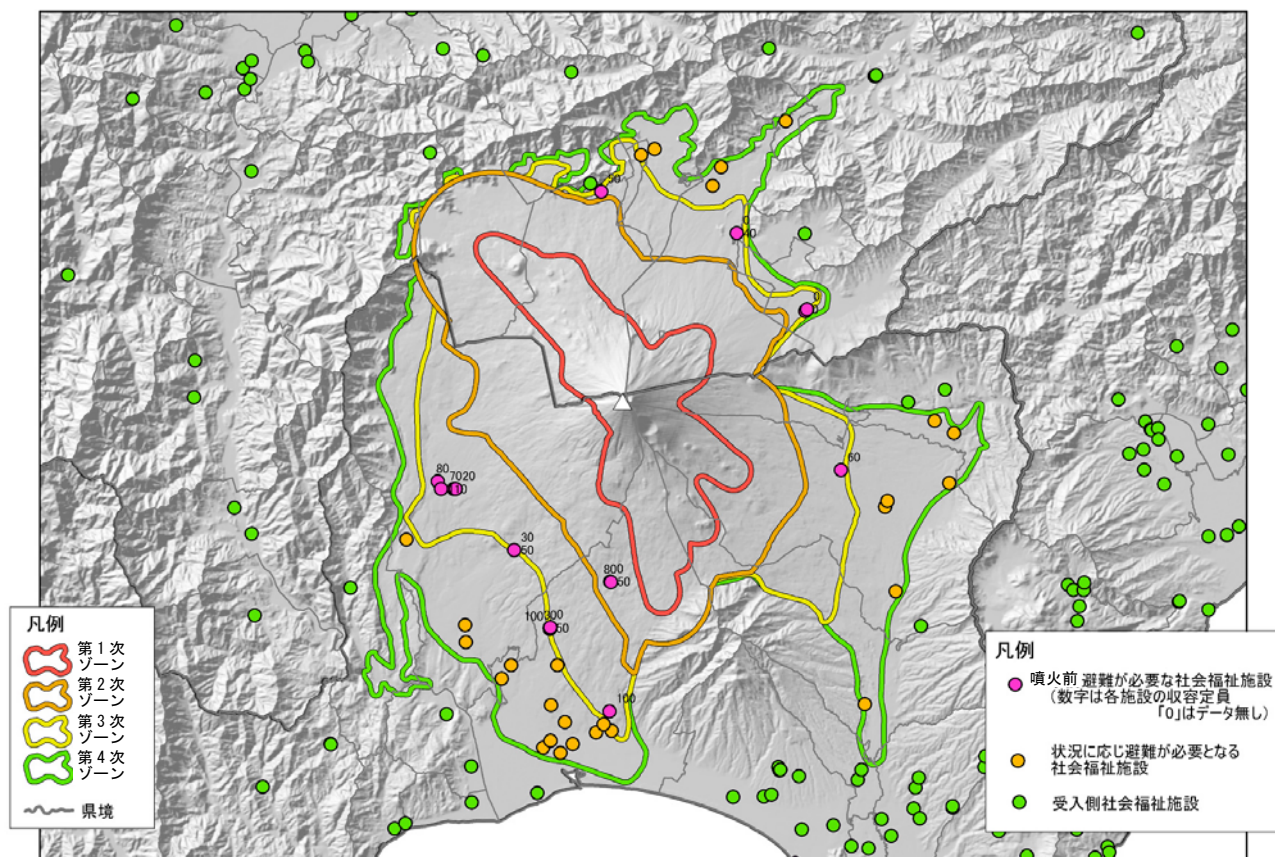


この検討は、ハザードマップの作成等にあたって、その基本的検討として行われたもので、周辺市町村が地域の実状に合わせ、避難を必要とする人数、集合同所のあり方、避難の手段、避難に要する時間などをシミュレーションしたものである。



1. 避難対策 1-5 災害時要援護者の噴火前避難 社会福祉施設等入所者の噴火前避難について

《社会福祉施設の分布》



【試算】

	噴火前避難が必要な施設数	入所施設の定員数（合計）
山梨県	4 施設	90 名
静岡県	15 施設	830 名
計	19 施設	920 名

	噴火後状況に応じ避難が必要な施設数	入所施設の定員数（合計）
山梨県	5 施設	34 名
静岡県	27 施設	1,478 名
計	32 施設	1,512 名

(施設立地状況... 国土数値情報「公共施設」より)

(入所施設の定員数... 市町村データより推計)